平成２４年度

事　業　報　告　書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成２４年度事業報告

平成２４年度は，長年の懸案課題でありました公益財団法人への移行につきまして京都府公益認定等審議会から認定基準に適合する旨の答申を受け，４月１日から公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団として新たにスタートいたしました。

また，本年度は当財団が末永く指定管理者の選定を受けることができるよう人事管理の諸ルールを刷新し，経営の安定化を図るとともに働きがいのある職場を目指して人事給与制度を改定し，平成２５年４月から運用を開始することができました。

そのような中，京都コンサートホールにおきましては，「世界レベルの音楽芸術の殿堂」という評価を獲得することができるよう，京都市の姉妹都市等から世界レベルの芸術団体を迎え，音楽芸術の鑑賞機会の提供や次代の音楽芸術を担う人材の育成，全ての人が文化芸術に触れ楽しむことができる環境整備など，文化芸術活動の活性化に資する事業を実施しました。

文化会館におきましては，各地域の特性を活かした文化芸術活動の振興拠点となるために，地域の委員が参加する地域文化芸術活動活性化協議会の運営を通して文化会館のコーディネイターによる文化芸術活動パワーアップ支援事業や文化芸術活性化パートナーシップ事業の充実を図り，地域の文化芸術活動の活性化に取り組みました。

また，現在再整備のために一時閉館しております京都会館につきましては，本年度は財団がこれまで培った管理運営のノウハウを活かして，京都市からの管理運営やオープニング事業企画などの受託業務に取り組むとともに，平成２５年２月の京都市会の議決を受け，平成２５年度から４年間，京都会館のリニューアルオープンの準備業務，オープニング事業等を実施する指定管理者に選定されました。

京都市交響楽団につきましては「世界に誇れる一流のオーケストラ」を目指し，国内主要都市に赴いて京響を広くアピールするとともに，東日本大震災による被災地の一日も早い復興を願って，京響をはじめ京都の音楽諸団体による「京都ミュージックプロムナード　東日本大震災チャリティーコンサート」を開催し義援金を現地にお届けするなど，被災された皆様に音楽を通して笑顔と元気を取り戻していただける事業を実施しました。また，京都市民の皆様に京響を身近に感じ，関心を持っていただける機会を積極的に設ける一方，将来の音楽文化の担い手の育成にも取り組みました。

今後は京都市の文化芸術振興の担い手として，市民の皆様にこれまで以上に満足度の高いサービスを提供できるよう創意工夫を重ね成果を上げてまいります。

『公益目的事業』

■　京都コンサートホール

Ⅰ　自主・共催事業（３９事業５６公演４講座）

１　「京都の秋 音楽祭」の開催〔９月１６日（日）～１１月３０日（金）〕

（写真１）

（写真２）

世界に誇る文化都市，京都ならではの質の高い文化芸術を創造し，国内外へ発信する財団の基幹事業として「第１６回京都の秋 音楽祭」を開催しました。門川市長の開会宣言により開幕し，世界一流レベルのオーケストラや著名ソリストを迎えての公演など盛りだくさんな内容で，多くの市民の皆様に楽しんでいただきました。

（１）多くの市民を招待

「第１６回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」には，市民４００名を無料招待し，２０１２年最大イベント「ロンドン五輪」の開催の年にちなんだ豪華プログラムを常任指揮者広上淳一率いる京都市交響楽団の演奏によって，華やかに音楽祭の幕があがりました（写真１・２）。

（２）著名なオーケストラや演奏家による質の高い音楽鑑賞機会の提供

（写真３）

（写真４）

小澤征爾，佐渡裕などを輩出した若手指揮者の登竜門である第５２回（２０１１年）ブザンソン国際若手指揮者コンクール優勝の垣内悠希と第１３回（２００９年）ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝で一躍人気ピアニストとなった辻井伸行を

迎え京都市交響楽団とのフレッシュな共演が実現し，クラシック界の次代を担う若き二人と京都市交響楽団の名演奏に注目が集まりました。海外からは，１５４８年に創設された世界最古のオーケストラの一つ，ドイツの名門楽団である「ドレスデン国立歌劇場管弦楽団」が京都初登場，また世界的に活躍する巨匠ヘルベルト・ブロムシュテット率いる世界遺産都市バンベルクを拠点とする「バンベルク交響楽団」（写真３），さらにベルリン・フィルと並び称されるドイツを代表するオーケストラ「バイエルン放送交響楽団」が指揮者マリス・ヤンソンスとともに登場し（写真４），世界の音楽ファンから愛された巨匠たちのサウンドをこの音楽祭で堪能いただきました。

（３）「“音楽の檜舞台”京都コンサートホール」をアピール

（写真５）

京都市立芸術大学，相愛大学等を中心とした関西の音楽大学等８校が集結し，合同オーケストラと合唱団による「第２回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバルＩＮ京都コンサートホール」を開催しました（写真５）。大学の垣根を越え，学生たちに貴重なオーケストラ・アンサンブルの機会を提供し，京都の街全体で若い演奏家たちを守り育てる，そんな輪が広がるよう京都コンサートホールを拠点として若き演奏家たちの支援を続けてまいります。

２　芸術水準高い演奏会の開催

（写真６）

（写真７）

京都の国際的地位を高め，市民に最高水準の音楽芸術を鑑賞する機会を提供するため，《京都の秋 音楽祭》で開催しました世界遺産都市バンベルクにある「バンベルク交響楽団」，古都ドレスデンにある「ドレスデン国立歌劇場管弦楽団」，ミュンヘンにある「バイエルン放送交響楽団」の３つの歴史都市の一流オーケストラの公演に加え，日本人トップヴァイオリニストの一人，諏訪内晶子と共演し，指揮者トゥガン・ソヒエフ率いる「トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団」がフランスらしい華やかな音色を奏で，多くのクラシックファンを魅了しました（写真６）。

また，著名な国内オーケストラによる京都特別公演として「大阪フィルハーモニー交響楽団」や「日本センチュリー交響楽団」の公演や第５回京都賞受賞に輝いた作曲家ジョン・ケージとデビュー５０周年のビートルズを組み合わせたオリジナルプログラム「高橋アキピアノリサイタル」など，日本が世界に誇る演奏家たちによるコンサートも開催しました（写真７）。

３　財団のコーディネイト力を活かした幅広い音楽ジャンルを提供

（１）「京都ミュージック・プロムナード～東日本大震災支援チャリティーコンサート」と北山地域活性化事業との連携

京都から東日本大震災の復興を願い，京都市交響楽団をはじめ京都の音楽諸団体，京都市立芸術大学，京都市立京都堀川音楽高等学校，京都市ジュニアオーケストラ，京都市少年合唱団が集結し，チャリティーコンサートを開催しました。今回は，若手実力派の指揮者川瀬賢太郎と第３回（２００７年）仙台国際音楽祭コンクールの覇者でピアノ奏者の津田裕也，さらに日本センチュリー交響楽団が指導するセンチュリー・ユースオーケストラがゲストとして加わり，壮大なスケールで東日本の被災地の復興を祈り，京都から願いを届けました。（義援金として一般財団法人音楽の力による復興センター・東北に１００万円を寄付）

また，チャリティーコンサート当日は，北山街協同組合や植物園，上賀茂・下鴨地域の住民によるまちづくり活動の「あおい地球まつり」と連携し，北山駅周辺やコンサートホールの内外で開催した北山地域活性化事業にも貢献しました。

（２）多彩な音楽芸術の響き

結成４０周年を記念してベルリン・フィルのメンバーによる「ベルリン・フィル１２人のチェリストたち」公演の開催や，中国の神童ピアニスト，ニュウニュウと第１３回（２００９年）ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本の辻井伸行とともに史上最年少にしてアジア人初優勝を果たした話題のピアニスト，ハオチェン・チャンが初登場し，素晴らしい響きを市民に届けました。

さらに，来日１５年記念として「イリーナ・メジューエワ　ピアノリサイタル」を開催し，ロシアに生まれ日本で活躍するメジューエワの魅力を伝えるとともに，アコーディオンのスペシャリストとして華麗な演奏で聴衆を魅了する「御喜美江クラシックアコーディオン」や世界で活躍するＥ．ザイラー家が京都に全員集結し，多彩な音楽芸術を奏でました。

京都で初めて結成された本格的な邦楽アンサンブル「みやこ風韻」の公演を昨年に引き続き開催し，アンサンブルホールムラタの明瞭で豊かな音楽空間を活かし，伝統の継承と発展に取り組みました。

（３）市民の文化芸術へのアクセスの拡充

（写真８）

（写真９）

市民の誰もが容易に文化芸術に接する機会を提供するためレクチャー公演をはじめ，アウトリーチや参加型ワークショップを実施しました。

平成２４年度はピアニストとしてまた教育者として活躍する京都コンサートホール館長，田隅靖子の解説付きのシリーズコンサート「おんがくア・ラ・カルト」を年間３公演開催し，市民の皆様が参加しやすく，クラシック音楽を多くの方々に知っていただく機会を提供しました。

また，フランス宮廷で愛されたバロックダンスと音楽を楽しむ「バロック宮廷の華～ダンスと音楽の饗宴～」では，本公演で演奏する曲に合わせ実際にステップを踏む体験ワークショップを同時開催するとともに（写真８・９），「子どものための音楽のトビラ」の公演では，子どもたちがワークショップで聴いた音楽から連想して描いたイラスト（写真１０）をアニメーションオペレーターが特殊効果として舞台上に投影し，ピアノの演奏と共演することで音楽に親しみ表現する機会も提供しました（写真１１）。

（写真１０）

（写真１１）

そのほか，一般公募で集まったアマチュアの演奏家たちが，憧れの舞台に立つ喜びを共有し，多彩な演奏を披露する「音楽でつながる♪リレーコンサート」を昨年に引き続き開催しました。

４　日本屈指のパイプオルガンの魅力を伝える

（写真１２）

（写真１３）

京都コンサートホールが誇る日本屈指のパイプオルガンの魅力を低廉な価格で紹介する機会を提供し，毎年好評を博している「オムロン　パイプオルガンシリーズ」（年３回）を開催しました（写真１２・１３）。

（写真１４）

（写真１５）

また，子どもたちにパイプオルガンの音の出る仕組みをわかりやすく解説するとともに，実際にパイプオルガンに触れてみるなど，パイプオルガンを知ることで親しみを感じ，興味を持ってもらえる「パイプオルガンもの知り博士」を開催したほか（写真１４・１５），毎年恒例の「クリスマスコンサート“オルガンの翼にのせて”」では，組曲「くるみ割り人形」を取り上げ，京都市少年合唱団との共演など親子でクリスマスのひと時を楽しんでいただきました。

５　未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援

（１）小学生への音楽鑑賞機会の提供

次代の音楽文化の担い手を育成するとともに鑑賞者を育てる活動として「小学生のための音楽鑑賞教室」を引き続き開催しました。市内のすべての小学生が京都市交響楽団によるクラシック音楽の演奏会に接することで未来の音楽芸術を担う青少年の育成に努めました。

（２）“未来の演奏家”の育成

（写真１６）

平成１７年度の設立以来，京都市交響楽団の演奏指導のもと躍進を続けている京都市ジュニアオーケストラが「第８回京都市ジュニアオーケストラコンサート」を開催しました（写真１６）。１０歳から２２歳までの若き演奏家が大曲ショスタコーヴィチの「交響曲第５番」に挑み，その堂々たる演奏で京都の聴衆を驚かせ，非常に高い評価を得ました。

（３）音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため，音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金制度」を引き続き実施し，大学の交響楽団演奏会や中学校・高等学校の吹奏楽部の演奏会など１０事業を支援しました。

（参考）平成２４年度京都コンサートホール　ホール利用助成金制度実施実績

事　業　名	事　業　日	主　催　者
立命館大学交響楽団 第１０７回定期演奏会	６月８日（金） 大ホール	立命館大学交響楽団
京都大学交響楽団 第１９１回定期演奏会	６月２７日（水） 大ホール	京都大学交響楽団
洛南高等学校グリークラブ 第１９回定期演奏会	１０月４日（木） アンサンブルホールムラタ	洛南高等学校グリークラブ
立命館大学応援団吹奏楽部 第４９回定期演奏会	１２月７日（金） 大ホール	立命館大学応援団吹奏楽部
京都大学吹奏楽団 第４２回定期演奏会	１２月２１日（金） 大ホール	京都大学吹奏楽団
京都大学交響楽団 第１９２回定期演奏会	１月８日（火） 大ホール	京都大学交響楽団
京都市立修学院中学校 吹奏楽部　定期演奏会	３月２１日（木） 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
龍谷大学付属平安中学 高等学校吹奏楽部 第４８回定期演奏会	３月２２日（金） 大ホール	龍谷大学付属平安中高等学校 吹奏楽部
大谷中高等学校吹奏楽部 第４９回定期演奏会	３月２９日（金） 大ホール	大谷中高等学校吹奏楽部
京都府立向陽高等学校 吹奏楽部 第２８回定期演奏会	３月２９日（金） アンサンブルホールムラタ	京都府立向陽高等学校 吹奏楽部

６　京都市交響楽団のフランチャイズホールとしての連携

（写真１７）

（写真１８）

京響メンバーによるコンサートとして,「ブラスアンサンブルの夕べＶｏｌ．８」「京都ラビッシュアンサンブルＶｏｌ．９」「ハラルド・ナエス　トランペットリサイタル」「菊本和昭＆岡本哲デュオリサイタル」（写真１７），平成２２年度京都市芸術新人賞の受賞記念公演「小谷口直子室内楽演奏会」（写真１８）の開催とモーツァルト生誕２５０年を記念して２００４年から始まったシリーズ最終章「モーツァルト・ツィクルス」を開催しました。引き続き，市民が京都市交響楽団にふれる機会の増大に努めるとともにクラシック音楽の振興及び発信を図ってまいります。

Ⅱ　受託事業

１　指定管理者業務

「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに，指定管理者として，利用料金収入の増収を図るため営業の強化に努め，京都市民の文化芸術の活動拠点となるよう，利用の促進に努めました。

（１）施設利用（貸館）の受付状況

ア　利用実績

（ア）利用率目標達成度

ホール利用率は，京都会館が再整備のため，一時閉館中であることから当ホールを利用されたり，ホール利用助成金制度やウィークデー・パッケージプランなどの当ホール利用助成金制度を利用した平日利用が増加したため，大ホール，アンサンブルホールムラタともに，過去最高の利用率となりました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
利用率(日数)の目標値　大ホール	５８％	５５％	５８％	６５％
利用率(日数)の実績値　大ホール	５３％	５８％	５５％	６９％
目　標　達　成　度　大ホール	９１．３％	１０５．４％	９４．８％	１０５．６％
利用率(日数)の目標値　アンサンブルホールムラタ	５１％	４７％	５２％	５８％
利用率(日数)の実績値　アンサンブルホールムラタ	５０％	５３％	５７％	６０％
目　標　達　成　度　アンサンブルホールムラタ	９８．０％	１１２．７％	１０９．６％	１０４．１％

（イ）入場者数

年間入場者数も上記（ア）と同様に平日利用が増加したため，前年度より２３％上回り，目標値を１８．０ポイント上回る結果となり３０万人を超えるお客様にご来館いただきました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
入場者数の目標値	２３６，７０８名	２４４，４９５名	２４４，４９５名	２６０，０００名
入場者数の実績値	２４３，００４名	２５５，０７２名	２４９，４９９名	３０７，８３６名
目　標　達　成　度	１０２．７％	１０４．３％	１０２．０％	１１８．３％

（ウ）利用料金収入

利用料金収入も上記（ア）と同様に平日利用が増加したため，過去最高額の平成２２年度を１３％上回る結果となり，過去最高の収入となりました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
ホール料金収入	１６１,５５２(千円)	１８０,７５１(千円)	１７４,７８６(千円)	２０７,５７８(千円)
駐車場利用収入	２４,０９９(千円)	２３,９０８(千円)	２１,８４９(千円)	２３,３１９(千円)
計	１８５,６５１(千円)	２０４,６５９(千円)	１９６,６３５(千円)	２３０,８９７(千円)

（２）施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から１７年が経過しました。このため，施設の所有者である京都市の施設改修工事，修繕のほか，財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修・修繕に取り組みました。

（参考）主な修繕事例（財団施工分）

修　繕　内　容
アンサンブルホールムラタ音響調整卓移設
外壁壁面洗浄
パイプオルガン電気システム消耗部品交換
１階男女・障害者用トイレ暖房洗浄便座取り付け修繕
地下駐車場監視カメラ修繕
地下１階駐車場管制盤改修

■　地域文化会館
（京都市東部文化会館，京都市呉竹文化センター，京都市西文化会館ウエスティ，京都市北文化会館，京都市右京ふれあい文化会館）

地域文化会館では，地域の特性を活かした文化芸術活動の拠点となるために，昨年度設置した地域文化芸術活動活性化協議会からの意見や提案を受け，文化会館のコーディネイターが地域の文化芸術団体や個人との連携事業やアウトリーチ事業をコーディネイトするなど文化芸術活動の活性化に向け，様々な事業に取り組みました。

Ⅰ　自主事業（５８事業９４公演５講座）

１　地域の文化芸術活動活性化への取り組み

地域文化会館では昨年度に続き，平成２４年度も下記の４点の財団重点目標を実現するために，以下の事業を実施しました。

① 文化芸術活動の拠点（ネットワークの中心）としての機能を強化すること
② 誰もが容易に文化芸術にふれ，親しむことができる環境を整備し，効果的に提供すること
③ 文化芸術団体等への支援により市民の文化芸術活動を活性化させること
④ 財団が管理するホール・会館・京都市交響楽団との相互連携による総合的運営を実現すること

（１）地域文化芸術活動活性化協議会の開催と協議会提案事業

地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け，コーディネイターが地域の文化芸術団体や個人をコラボレーションする事業を各地域文化会館で実施した。西文化会館ウエスティではプロ・アマチュアを問わず，地域の文化芸術団体及び個人にパフォーマンスを行う場所（創造活動室）を提供し，地域のライブ会場や商店等と連携を図る「ウエスティ・パフォーマンス広場」を年間５回開催し，地域の文化芸術の活性化に寄与しました。具体的には珍しい北欧音楽の演奏と楽器紹介，幼児対象に親子で楽しむ童謡・アニメ音楽，京都で活動するフォークシンガー演奏，歌声喫茶コンサート，琴・尺八によるＸｍａｓコンサート，ファミリーバンドとオートハープのプロ奏者とのコラボレーションコンサートなどを実施しました。北文化会館では北青少年活動センターとの

協働により，地域の若者を対象に，日頃の活動成果を発表する機会を提供し，ダンス，バンド，演劇，音楽，お笑い等の多彩なパフォーマンスを披露し，地域の若者の文化会館への認知度の向上と地域の文化芸術活動の活性化に寄与しました。

ア　アウトリーチ活動の本格的な実施

地域文化会館では，市民の文化芸術活動への参加を促進し，地域の文化施設や教育機関，さらに文化芸術団体等とのネットワークを形成するため，コーディネイターが地域文化芸術活動活性化協議会から支援を受け，アウトリーチ活動協力団体と受入施設の登録を募り，アウトリーチ活動協力団体を学校等の教育施設，病院や福祉施設，商業施設等に派遣し，演奏活動をする事業をスタートさせ，市民が身近に芸術や文化に触れていただくことができました。平成２４年度には地域文化会館でアウトリーチ活動協力団体３５団体，開催団体（受入施設）１９団体が登録されました。本格的活動を前に，３月に東部文化会館では「ナイス・ミート@エコム」というタイトルでアウトリーチ活動協力団体と受入施設のお見合い事業を開催し，多くの団体が参加されました。協力団体によるアウトリーチ活動としましては，右京ふれあい文化会館の協力団体「アンサンブル寒鰤」は京都市嵯峨野児童館でコンサートを開催し，小学生児童，保護者をはじめ近隣の住民も参加されるなど，地域の文化芸術活動の活性化につなげることができました。東部文化会館では葦笛の団体「湖風音」によるミニコンサートをホテルブライトンシティ京都山科で区役所の主催で開催するともに，呉竹文化センターの協力団体である京都大学落語研究会は有料老人ホームももやまの里において落語会を開催しました。平成２５年度には全文化会館で本格的な活動に取り組み，地域の文化芸術活動の活性化に貢献してまいります。

（２）文化会館コーディネイターによる文化芸術活動パワーアップ支援事業の実施

平成２４年度は，５件の文化芸術事業を支援しました。１０件の申請案件に対して，コーディネイターのサポートにより，事業の芸術性，創作性の向上につながる事業に対して支援を決定しました。本年度の支援対象事業は東部文化会館の「インド音楽と舞踊の伝心」(写真)，呉竹文化センターの「コンテンポラリーダンス」の２件の舞踊事業と西文化会館ウエスティの「スージー絆チャリティーコンサート」，北文化会館の「書道と音楽のコラボレーションコンサート」，呉竹文化センターの「ヴォーカルアンサンブル　ローラーフェリーチェ」の３件の音楽事業に支援しました。次年度以降も演劇，舞踊，伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など幅広い市民の文化芸術活動に対し，経費の一部を助成するとともに，各地域文化会館のコーディネイターが施設活用や舞台づくりのアドバイスを行い，芸術性や創作性の向上に向けた支援を行う「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を強力に継続実施してまいります。

（３）文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施

これまで京都市から委託事業として取り組んできたフランチャイズ（活動拠点）化事業を平成２３年度から財団の自主事業として実施しているパートナーシップ事業は，鑑賞型の無料公演に加えて，各地域文化会館の内外で，地域の子どもたちを対象に生演奏を聞かせるミニコンサートや楽器体験，楽器講習会などの教育プログラムを教育機関，地元の企業とも連携し実施することで，文化芸術活動の活性化やネットワークの強化を図りました。西文化会館ウエスティのパートナー団体である京都フィルハーモニー室内合奏団は「親子で遊ぼう！京フィル　キク・カクコンサート」において，色々な楽器の音を聞いて絵をかくコンサートを未就学児の親子を対象に開催しました。無料公演は１０公演，延べ参加者数は３，７０７名。教育プログラムは１５公演，延べ参加者数は２，３４７名。合わせて５館で６，０５４名が参加しました。

（参考）平成２４年度パートナーシップ団体

会　館　名	パートナーシップ団体（種別）
東　部　文　化　会　館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル（器楽演奏）
呉竹文化センター	墨染交響楽団（管弦楽） 京・伏見音楽サークル和音（吹奏楽）
西文化会館ウエスティ	京都フィルハーモニー室内合奏団（室内楽） 吹奏楽団京都ムジークフェライン（吹奏楽）
北　文　化　会　館	京響市民合唱団（合唱） 京都ウインドギルド（吹奏楽）
右京ふれあい文化会館	京都ウインドオーケストラ（吹奏楽） ＮＥＯ吹奏楽団（吹奏楽）

※文化芸術活性化パートナーシップ事業とは
芸術文化活動を行う団体（演劇・音楽・ダンス）等に文化会館を活動拠点として提供し，会館のパートナーとして地域の文化芸術活性化にともに取り組むもので，

1　ホールの空き時間を練習場所として提供する
2　市民との交流を深め，地域の文化芸術を活性化するための公演，ワークショップ，教育プログラム，地域文化イベントへの参加等を行う
3　会館を使用する団体が行う公演については，当該団体，公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団との共催事業とする

平成２４年度は，１３件の応募があり，第１次，第２次の２回の選考委員会の結果，上記９団体に決定しました。

２　教育機関との連携及び教育活動への支援

中学校・高等学校の吹奏楽部の音楽活動を支援するため，東部文化会館では山科・醍醐地域の中学校・高等学校の吹奏楽部による「ブラスバンド・イーストフェスティバル」を，西文化会館ウエスティでは西京区内の中学校吹奏楽部による「ウエスティ吹奏楽祭」を，右京ふれあい文化会館では右京区内の中学校吹奏楽部による「右京ふれあい合同演奏会」を開催しました。また，西文化会館ウエスティでは，京都市立芸術大学との連携により「ウエスティ音暦（おとごよみ）」を３公演，北文化会館では，「京芸ルネッサンス２０１２　文化会館コンサートシリーズ」を２公演開催しました。

３　地域の芸術・芸能の振興

北文化会館では，前年に引き続き地元に伝承される和太鼓の演奏会と，新たに「西方寺六斎念佛と船形萬燈籠」において六斎念佛奉納と講演を開催し，伝統芸能の継承の役割を果たしました。また，呉竹文化センターでは，「地域の伝統芸能との出会い」を開催し藤森神社鳴鳳雅楽会による雅楽，藤森太鼓保存会による太鼓，詩歌吟詠景心流六映会による詩吟と舞を実施しました。延べ７８０名の参加がありました。

４　市民参加をプロデュース

多くの市民の皆様が文化芸術活動に参加し，自己表現する楽しさや難しさを体感できる機会を提供するため，平成２４年度も引き続き，市民の舞台芸術活動を発表する機会として「市民創造ステージ」を３館（東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ）で開催しました。また，北文化会館では，近隣に多くの大学が立地していることから，北区を中心とした大学音楽サークルによる合同演奏会「ＫＩＴＡＢＵＮミュージックフェスティバル」を，東部文化会館では，地域のコーラス団体による合同発表会「第８回コーラス・フェスティバルｉｎ山科・醍醐」を，右京ふれあい文化会館では「コーラス・フェスティバルｉｎ右京」を開催し，音楽による交流を図りました。

５　世界の民族音楽に触れる機会を提供

平成２３年度に引き続き国際都市「京都」ならではの企画として，市民が世界の民族音楽にふれ，多様な音楽を楽しみ，関心や理解を深める機会として「右京ワールドミュージックフェスタ２０１３」を開催しました。アフリカ・モンゴル・カザフスタン・インド・ペルーの音楽演奏とタイの鳥笛絵付けやタンザニアのティンガティンガアート，アフリカリズムやインドダンスのワークショップなどを実施しました。当日は延べ２１０名の参加がありました。

６　質の高い映画文化の振興

芸術性の高い上質な映画作品を鑑賞する「映画上映会」では，ゴールデンウィークに進藤兼人監督作品「１枚のハガキ」を５館で実施し，入場者数は延べ２，２１７名を数え，映像芸術の振興を図りました。

７　親子で参加できるコンサート

東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，右京ふれあい文化会館では，幼児を連れた家族を対象に「親子で楽しむファミリーコンサート２０１３」を，北文化会館では，「ＫＩＴＡＢＵＮ０歳児からのクラシック」を開催しました。延べ１，９７０名の入場者がありました。

８　市民が京都市交響楽団とふれあう機会を提供

平成２４年度京都市交響楽団との連携事業は，新たに京都しんふぉにえったによる「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センターで年間３回実施しました。ワンコイン５００円の格安料金でシニアから子どもまで楽しめるおなじみ曲目を京響メンバーによるアンサンブルが演奏し，楽団員による楽しいトークもあり大変好評を得ました。延べ１，７０３名の入場者がありました。また，昨年度に引き続き呉竹文化センターを除く４館では，京響楽団員による「なるほどサポート」を開催し，地域の中学校の吹奏楽部の生徒を対象とした楽器講習会を実施し，プロによる楽器指導を直接受ける機会を提供することにより中学生の演奏技術の向上に寄与しました。

Ⅱ　受託事業

１　指定管理者業務

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに，指定管理者として利用料金収入の増収を図るため，営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し利用の促進を図りました。

（１）施設利用（貸館）の受付状況

ア　利用実績

東部文化会館

（ア）利用率目標達成度

平成２３年度実績を勘案し，平成２４年度目標を設定しましたが，目標値より１％減となりましたが，前年度実績より２％増となりました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
利用率（日数）の目標値	５９％	５９％	６２％	６１％
利用率（日数）の実績値	５４％	６０％	５８％	６０％
目　標　達　成　度	９１．５％	１０１．７％	９３．５％	９８．４％

（イ）入場者数及び利用料金収入

区　　分	平成２３年度	平成２４年度
入場者数（ホール）数値	３９，５４４名	５０，９２８名
利　用　料　金　収　入	２９，７９１（千円）	３０，７１９（千円）

※文化会館については平成２３年度から利用料金制を導入

呉竹文化センター

（ア）利用率目標達成度

平成２３年度実績を勘案し，平成２４年度目標を設定しましたが，前年度実績より１％減となりましたが，目標値より８％増となりました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
利用率（日数）の目標値	６３％	６３％	６４％	６９％
利用率（日数）の実績値	５８％	６８％	７８％	７７％
目　標　達　成　度	９２．１％	１０７．９％	１２１．９％	１１１．６％

※平成２３，２４年度においては，吊物修繕により使用可能日が減少

（イ）入場者数及び利用料金収入

区　分	平成２３年度	平成２４年度
入場者数（ホール）数値	６５，３１９名	６１，７１１名
利　用　料　金　収　入	３９，６００（千円）	３９，８８６（千円）

※文化会館については平成２３年度から利用料金制を導入

西文化会館ウエスティ

（ア）利用率目標達成度

平成２３年度実績を勘案し，平成２４年度目標値５％増を設定しましたが，前年度と同実績となり目標を達成できませんでした。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
利用率（日数）の目標値	５５％	５３％	５５％	６０％
利用率（日数）の実績値	４４％	４９％	５８％	５８％
目　標　達　成　度	８０．０％	９２．５％	１０５．５％	９６．７％

（イ）入場者数及び利用料金収入

区　分	平成２３年度	平成２４年度
入場者数（ホール）数値	３３，５３０名	３２，６４１名
利　用　料　金　収　入	３０，２６７（千円）	３０，４０３（千円）
駐車場利用料金収入	３，６５６（千円）	３，４８３（千円）

※文化会館については平成２３年度から利用料金制を導入

北文化会館

（ア）利用率目標達成度

平成２３年度実績を勘案し，平成２４年度目標を設定しましたが，前年度実績より２％減，目標値より２％減となりましたが，実績としては，昨年の過去最高値に次ぐ２番目となりました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
利用率（日数）の目標値	７７％	７６％	７６％	８０％
利用率（日数）の実績値	６７％	７８％	８０％	７８％
目　標　達　成　度	８７．０％	１０２．６％	１０５．３％	９７．５％

（イ）入場者数及び利用料金収入

区　分	平成２３年度	平成２４年度
入場者数（ホール）数値	４０，７４４名	４０，５００名
利　用　料　金　収　入	３６，０９９（千円）	３７，３８９（千円）

※文化会館については平成２３年度から利用料金制を導入

右京ふれあい文化会館

（ア）利用率目標達成度

平成２３年度実績を勘案し，平成２４年度目標を設定しましたが，前年度実績より４％減となりましたが，目標値に対しては１％増となりました。

区　分	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
利用率（日数）の目標値	６０％	６３％	６５％	７３％
利用率（日数）の実績値	６３％	７２％	７８％	７４％
目　標　達　成　度	１０５．０％	１１４．３％	１２０％	１０１．４％

※平成２３年度においては，レコーディングによる長期間のホール利用あり

（イ）入場者数及び利用料金収入

区　分	平成２３年度	平成２４年度
入場者数（ホール）数値	３７，３９８名	３５，５６１名
利　用　料　金　収　入	３７，４６０（千円）	３６，７９９（千円）
駐車場利用料金収入	４，４４７（千円）	４，４２０（千円）

※文化会館については平成２３年度から利用料金制を導入

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。

これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

（参考）平成２４年度　催し物の企画業務に関する受託状況

会　館　名	受託件数	受　託　内　容	収　入　金　額
東　部　文　化　会　館	２９件	バレエ・保育園照明プラン・舞台・音響チーフ他	６７５，１５０円
呉竹文化センター	１６件	バレエ・演劇・日舞照明プラン・舞台・音響チーフ他	４９８，７５０円
西文化会館ウエスティ	１８件	老人クラブ・幼稚園等照明プラン・舞台・音響チーフ他	２０４，７５０円
北　文　化　会　館	１４件	区民まつり・大学チアリーディング等照明プラン・舞台チーフ他	２７８，２５０円
右京ふれあい文化会館	１９件	ダンス・バレエ照明・音響プラン他	５５６，５００円
計	９６件		２，２１３，４００円

（３）施設・設備の維持管理

呉竹文化センターが２２年，西文化会館ウエスティが１９年と，いずれも開設から相当な年月を経ています。このため，施設の所有者である京都市による施設改修工事，修繕のほか，財団におきましても，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修・修繕に取り組みました。

（参考）主な修繕事例（財団施工分）

会　館　名	修　繕　内　容
呉竹文化センター	空調関係修繕・ロビー間接照明修繕等
北　文　化　会　館	２階ホワイエ タイルカーペット修繕
右京ふれあい文化会館	有料駐車場ゲート取替修繕

■　京都会館

平成２４年度は京都市より受託した京都会館再整備に係る業務において，これまで長年にわたり施設の管理運営を行ってきた財団のノウハウを活かし，受託業務の成果物を提出しました。また，平成２５年２月の京都市会の議決を受け，平成２５年度から４年間，京都会館の指定管理者業務を受託することとなりました。平成２５年度からは指定管理者として実施設計から，建設工事，リニューアル・オープンと年度毎に異なる準備段階に応じて，次年度を見据えた準備業務を行ってまいります。特に，京都会館オープニング記念事業企画においては，財団が持てる能力とネットワークを駆使し，京都らしさを基調に，心ときめく新たな挑戦に加え，ジャンルの多彩さ，各事業のクオリティ，ラインナップの充実，そして最適な費用対効果など，当財団でなければ実現できない事業を企画・立案してまいります。

【京都会館運営検討業務】業務概要

（１）運営計画の策定補助に関すること

ア　運営面からみた従前の京都会館の設備，条例等の規定，サービスの内容等における課題の抽出と分析

イ　再整備後の京都会館の需要（設備，利用者，利用方法，サービス内容等）の想定（潜在的なものを含む。）

ウ　想定需要への対応策の検討

エ　その他再整備後の京都会館の運営計画の策定に係る各種調査，研究，資料作成

（２）舞台機構設計提案に関すること

ア　舞台機構の検討，基本設計及び実施設計への提案

イ　設計会議への出席，資料作成

（３）備品購入計画の策定に関すること

ア　現京都会館における備品整理等の補助

イ　備品購入計画策定に係る各種調査，研究，資料作成

ウ　備品設置に向けた基本設計及び実施設計への提案

（４）オープニング事業企画案作成に関すること

事業全体の企画立案及び検討委員会委員案の策定

■　京都市交響楽団

Ⅰ　自主事業（２３事業２９公演）

常任指揮者として５年目を迎えた広上淳一のもと，これまでに培ってきた京響カラーをさらに充実させ，古典派から近・現代そしてポピュラーな楽曲まで幅広く魅力的なプログラミングに取り組むとともに，国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え，京響＝広上でしか聴けないオリジナリティーあふれる演奏会を開催しました。

また，時宜に応じた適切な広報活動を行ったことにより，定期・特別演奏会のうち８公演（定期５公演，特別３公演）でチケットを完売し，多くのお客様に御来場いただくことができました。

１　定期演奏会

モーツァルトの「交響曲第３６番」やハイドンの「トランペット協奏曲」をはじめ，ブラームスの「交響曲第１番」やR．シュトラウスの「ばらの騎士」組曲，プーランクの「スターバト・マーテル」など，古典派から近・現代までのレパートリーをバランスよくプログラミングした演奏会を開催しました。

また，指揮者には，常任指揮者の広上淳一や桂冠指揮者の大友直人，読売日本交響楽団の正指揮者下野竜也をはじめ，日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者のアレクサンドル・ラザレフ，パリ管弦楽団の首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィのアシスタントも務めるラトヴィアの若き指揮者アンドリス・ポーガやスペイン国立放送響・合唱団の芸術監督・首席指揮者を務めるエイドリアン・リーパーなど国内外の若手から巨匠まで幅広く迎え，ソリストには，ヴァイオリニストのヴィルデ・フラング，ヴァディム・グルーズマン，クララ＝ジュミ・カン，ピアニストのジャン＝エフラム・バウゼ，河村尚子といった実力派を招き，充実した魅力ある演奏会の提供に努めました。

２　特別演奏会

（１）スプリングコンサート

「学生の街・京都」「文化の街・京都」をアピールし，学生や市民の皆様に気軽でリーズナブルにクラシック音楽を楽しんでいただくため，常任指揮者・広上淳一の指揮のもと，青いヴァイオリンで話題のチェコの名手パヴェル・シュポルツルをソロに迎えた華やかなクラシック音楽の名曲とともに，ベートーヴェンの傑作「交響曲第７番」を演奏しました。

学生をはじめ，幅広い年齢層のお客様に御来場いただくことができました。

（２）第九，ニューイヤーコンサート

年末恒例の第九コンサートは，びわ湖ホール芸術監督を務める沼尻竜典のタクトにより２日間の公演を実施しました。

また，ニューイヤーコンサートには，日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者・山田和樹と「ベートーヴェン弾き」とも評される仲道郁代を迎え，ベートーヴェンのピアノ協奏曲第５番「皇帝」やシューマンの交響曲第１番「春」等，新年を迎えるにふさわしい華やかな曲目をお楽しみいただきました。

３　市外公演

新潟公演及び大阪特別公演では，常任指揮者・広上淳一の指揮でヴァイオリンにパヴェル・シュポルツルを迎え，ドヴォルザークの「ヴァイオリン協奏曲」やリムスキー・コルサコフの交響組曲「シェエラザード」等を，名古屋公演及び魚津公演では，常任指揮者・広上淳一の指揮でピアノに山下洋輔を迎え，ガーシュウィンの「ラプソディー・イン・ブルー」やラフマニノフの「交響曲第２番」等を上演しました。

４　オーケストラ・ディスカバリー　－こどものためのオーケストラ入門－

「名曲のひ・み・つ」をテーマに，常任指揮者の広上淳一をはじめ４人の指揮者がナビゲーターとともに，どこかで一度は耳にしたことがある名曲を取り上げ，それぞれの作品の興味深いエピソードをナビゲーターが分かりやすく説明することで，音楽への理解と関心を高め，将来のクラシック愛好家の育成に寄与することができました。

また，毎回１つの楽器にスポットをあてて，本格的な協奏曲をじっくりお聴きいただくなど，より内容の充実を図り，定期演奏会への関心を促す内容としたほか，開演前にはロビーイベント，バックステージツアー及び楽団員等との交流会を実施するなどコンサートへの参加意識を高める取り組みを行いました。

５　みんなのコンサート

市民の文化芸術活動の拠点である地域文化会館を会場として音楽の旅をテーマに全６回開催しました。低料金で（前売り８００円，当日１，０００円），０歳児からシニアまで幅広くのお客様を対象に設定し，演奏内容もクラシックや映画音楽など初心者から愛好家まで十分楽しめる良質なものにするとともに，将来有望な若手指揮者や京都市立芸術大学の出身者をソリストに起用し，若手音楽家の育成にも努めました。

６　京響友の会招待コンサートの開催

京響友の会スペシャルコンサート（１２月７日）を開催して，友の会の魅力を高めるとともに友の会の会員拡充に努めました。

７　その他

（１）楽器講習会，訪問演奏等

小・中・高校生をはじめとする市民の皆様に，楽器の実技指導を京響練習場他で６回開催しました。また，福祉施設への訪問演奏や京都市が開催する行事等へも参加しました。

（２）京都市交響楽団練習風景公開事業

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールするため，毎月１回１時間，５０名程度の見学者を募集し，練習風景を一般に公開しました。

（３）京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携

京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行い，京都市ジュニアオーケストラや若手音楽家（京都市立芸術大学・堀川音楽高校）とのコラボレーションによる演奏会（チャリティコンサート）を実施しました。

Ⅱ　共催事業

ポップスアーティストとのコラボレーションによる演奏会「シンフォニック・エヴォリューション　ｗｉｔｈ　Ｓａｌｙｕ」や京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催し，クラシック音楽の普及と新たなクラシックファンの獲得を図りました。

Ⅲ　受託事業

京都市交響楽団の京都市内外での知名度アップはもちろん，学生（小・中・高校生）を対象とした「音楽鑑賞教室」を通じて生のオーケストラの演奏を聴く機会を提供し，クラシック音楽の普及振興を図るとともに，より充実した自主事業を実施するための資金獲得を目的として，京都市外の小学生のための音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラなどの４０事業について企画及び開催業務を受託しました。

■　施設の管理運営のための取り組み

Ⅰ　広報・営業活動

１　広報活動

（１）広報・広告媒体の活用

ア　市関連広報媒体

・市政広報板　・市民しんぶん　・ＧｏＧｏ土曜塾

イ　交通媒体

・地下鉄「北山駅」階段蹴込　・ＪＲ「京都駅」東改札液晶サインボード

・地下鉄「北山駅」「烏丸御池駅」構内ポスター枠

・地下鉄・ＪＲ・阪急・京阪電鉄車内ポスター掲示

ウ　地域情報誌等地元媒体

・ＫＹＯＴＯ　ＶＩＳＩＴＯＲ’Ｓ　ＧＵＩＤＥ

・ＦＭ　ＣＯＣＯＬＯ「ＫＹＯＴＯ　ＣＩＴＹ　ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ」

・歳時紀行　・京都私立病院報

エ　新聞

・京都新聞　・朝日新聞　・日本経済新聞　・讀賣新聞

オ　音楽専門誌

・音楽の友　・音楽現代　・ぶらあぼ

（２）自主媒体による広報

ア　会報誌「コンサートガイド」の発行（毎月／１７，０００部）【コンサートホール】

イ　メルマガによる公演情報の発信（メルマガ会員１２，３８３名）

ウ　ホームページの充実

ホームページの充実策として，京都コンサートホール・地域文化会館のトップページに画像を添付して情報を掲載できるページの新設をしました。

Ⅱ　集客のための取り組み

１　京都コンサートホール

（１）会員制度

京都コンサートホールでは，多くの音楽ファンに支えられたホール運営を進めるとともに，クラシック音楽の聴衆拡大と財団自主事業をより多くの観客に親しんでいただくため，「京都コンサートホールＣｌｕｂ」，「スペシャルメンバーズ」，の２つの会員制度を設け，固定ファンの確保及び新規ファン拡大に取り組みました。

ア　「京都コンサートホールＣｌｕｂ」会員制度の企画・運営

多くの皆様に「京都コンサートホールのファンになっていただく」ために，チケット優先予約や割引販売などの特典を付与した会員制度を設け運営しています。

特典の１つとして，平成２４年度も平成２３年度に引き続き，会員特別企画として，「京都の秋　音楽祭　開会記念コンサート」（９月１６日），京都市交響楽団ニューイヤーコンサート（１月１２日）の２公演の公開リハーサル見学会を実施して，２公演で合計８２名の会員に参加していただきました。

（参考）「京都コンサートホールＣｌｕｂ」会員数の推移

年　　度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
会 員 数	８６５名	２，０７２名	１，６８８名	１，９０５名

イ　「スペシャルメンバーズ」制度の企画・運営

平成１１年度から，海外オーケストラを中心に複数以上の公演を組み合せ，料金の割引等の特典を付与した会員制度として運営しています。

（参考１）「スペシャルメンバーズ」会員数の推移と内訳

年　　度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
会 員 数	３４７名	３５１名	４１２名	３７４名
各セット内訳	Ｓ：２４５ Ａ：１０２	Ｓ：２７１ Ａ：　８０	Ｓ：３００ Ａ：１１２	Ｓ：２８７ Ａ：　８７

（参考２）平成２４年度対象公演

１１月１０日（土）　　バンベルク交響楽団
１１月２３日（金・祝）　バイエルン放送交響楽団
１２月１４日（金）　　トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団

（２）割引制度

ア　「シニア制度※」の運営

昨今の高齢化社会に鑑みて，７０歳以上の高齢者を対象に，ホールへの親近感の向上と観客の拡大，また，高齢者へのサービスの一環としてシニア割引（１９公演）及びシニアシート（限定６０席を割引販売，３公演）を実施しました。

※当日券が発売される場合，最低料金席を除く各席料金を半額にて販売。

イ　「スチューデント制度※」の運営

「大学のまち・京都」に相応しい取り組みとして，次代を担う若い世代のクラシック音楽普及を図るため，学生を対象に，低料金で演奏会を鑑賞できる機会を提供しました。

※当日券が発売される場合，最低料金席を除く各席料金を半額にて販売。

ウ　「障がいのある方割引制度」の運営

障がいのある方にもコンサートホールに来館していただき，クラシック音楽を楽しんでいただけるよう，当財団主催事業について，障がいのある方及び同伴者１名の入場料割引を行う「障がいのある方割引制度」（１０％割引）を実施しました。

（３）ウィークデーパッケージプランの運用

株式会社エフエム京都との共同により，財団がホール利用料金の一部を負担し，株式会社エフエム京都がラジオでのスポット枠（空き枠）を利用してコマーシャルを流す，平日利用限定の「京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し，２３事業を開催し，アンサンブルホールムラタの利用率向上に貢献しました。

（参考）平成２４年度　京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事　業　名	事　業　日	主　催　者
河口　恭吾 ありがとうＳＯＮＧＳ　コンサート	４月３日（火） 大ホール	㈶民主音楽協会
奥　華子 ＣＯＮＣＥＲＴ　ＴＯＵＲ‘１２ 弾き語り	４月６日（金） アンサンブルホールムラタ	㈱キョードーマネジメントシステムズ
宮本　笑里 リサイタルツアー２０１２	４月１３日（金） アンサンブルホールムラタ	㈱キョードーマネジメントシステムズ
ＡＵＮＪ クラシックオーケストラ	５月１５日（火） 大ホール	㈶民主音楽協会
金子　三勇士 ピアノリサイタル	６月６日（水） アンサンブルホールムラタ	京都新音楽協会 ミューズ
佐藤　しのぶ 歌は祈り	８月２４日（金） 大ホール	㈶民主音楽協会
由紀　さおり・安田　祥子 コンサート	９月４日（火） 大ホール	㈱オトノワ
冴木　杏奈 タンゴ　ワールドツアー２０１２	９月２７日（木） アンサンブルホールムラタ	冴木杏奈タンゴ 保存会
小久見　佳代 フルートリサイタル	１０月２４日（水） アンサンブルホールムラタ	㈲エラート音楽事務所
能で愉しむ 観月の夕べ	１０月２６日（金） アンサンブルホールムラタ	岩本　喜樹朗
音楽映画 「ベートーベン第９番」上映会	１１月２７日（火） アンサンブルホールムラタ	㈱グループ未来
モーツァルト　トリオ	１１月２９日（木） アンサンブルホールムラタ	㈱クリアスタルアーツ
ＴＳＵＫＥＭＥＮ コンサート	１２月４日（火） 大ホール	㈶民主音楽協会
アルド・チッコリーニ ピアノリサイタル	１２月４日（火） アンサンブルホールムラタ	㈲エラート音楽事務所
古川　展生 チェロリサイタル	１２月１３日（木） アンサンブルホールムラタ	㈲エラート音楽事務所
川上　ミネ　ベネシアスタンリースミス によるクリスマスコンサート	１２月１４日（金） アンサンブルホールムラタ	川上　ミネ 音楽事務所
オペラをみんなのものに！ シネマとコンサート	２月１５日（金） アンサンブルホールムラタ	㈱グループ未来
フランチェスコ　トリスターノ ピアノリサイタル	２月２１日（木） アンサンブルホールムラタ	㈱ユーラシック
ドラマチックタンゴ	３月１日（金） 大ホール	㈶民主音楽協会
東京メトロポリタン　ブラスクインテッド 京都公演	３月１日（金） アンサンブルホールムラタ	㈲エラート音楽事務所
木村　大 ギターリサイタル	３月２２日（金） アンサンブルホールムラタ	㈱オトノワ
東儀　秀樹×古澤　巌 ｇｕｅｓｔ　上妻　宏光　コンサート	３月２８日（木） 大ホール	㈱京都中央企画
三枝　由美子 ピアノリサイタル	３月２８日（木） アンサンブルホールムラタ	㈲エラート音楽事務所

２　京都市交響楽団

（１）会員制度

京都市交響楽団では，市民の音楽文化の向上を目指すとともに，世界に羽ばたく一流のオーケストラへの飛躍を支援していただくために，京響の演奏会をプライベート・シートでお得にお楽しみいただくほか，会員限定のコンサートや「本番前リハーサル」の公開等，様々な特典，楽員との交流を付与した「京響友の会」会員制度を設けています。

個人会員にあっては，賛助会員や通年会員，半年間毎の前期・後期会員をはじめ，ライフスタイルに合わせてお楽しみいただける，開演時間別の土日マチネ・平日ソワレ会員等の会員区分を設けています。法人会員にあっては，平成２１年４月に京都市交響楽団の運営が当財団に移管されたのを機に低額な法人会員区分を設け，新規ファンの獲得と固定ファンの確保に取り組んでいます。

平成２４年度の実績は個人会員が９５１名，法人会員が８２社でした。

（２）割引制度

年１１回開催している定期演奏会と，年末（２回）・年始（１回）に開催している特別演奏会を対象として，１０枚以上ご購入のお客様に対し，１０％の割引を実施しています。

また，定期演奏会及び特別演奏会において当日券が販売される場合，最低料金席を除く各席で学生券と休憩後のコンサート後半のみをお楽しみいただける後半券を特別割引価格で販売しております。

３　インターネットによる京都コンサートホール・京都市交響楽団自主事業チケット販売

平成２１年度からインターネットでチケットを購入できるようにするとともに，チケット購入の際に会員登録をいただき，ご希望の会員様には定期的にウェブメールによる演奏会情報の配信（平成２４年度配信回数：２０回）を行うなど，チケット販売（平成２４年度販売枚数：６，９６４枚）の促進を図りました。

（参考）インターネット会員登録数

年　度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	累　計
登録数	２，０８１名	３，５９４名	２，８４１名	３，８６７名	１２，３８３名

４　地域文化会館

（１）地域文化会館割引制度

平成２３年度からの利用料金制度導入に伴い，地域文化会館のホール利用を促進するため，平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア　平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ），地域文化会館（ホール）のいずれかで，演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており，ホール本番利用日の２箇月前の日から本番までの平日利用に限り，ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は５０％を割引く制度。

平成２４年度 平日直前利用割引制度適用件数

会　館　名	受託件数	主 な 利 用 者
東　部　文　化　会　館	１１件	保育所，バレエ教室等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	３件	合唱団等
西文化会館ウエスティ	１４件	幼稚園，舞台制作会社等
北　文　化　会　館	２件	リサイタル
右京ふれあい文化会館	３件	管弦楽団，バレエ教室等
計	３３件	

イ　平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に２区分以上連続して利用する場合は，利用料を１５％割引く制度。

平成２４年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会　館　名	受託件数	主 な 利 用 者
東　部　文　化　会　館	４６件	学校，市役所等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	５２件	企業研修会，音楽教室等
西文化会館ウエスティ	２９件	市立中学校吹奏学部，幼稚園等
北　文　化　会　館	４４件	大学クラブ，フラメンコスタジオ等
右京ふれあい文化会館	３３件	中高等学校吹奏楽部，バレエ教室，幼稚園等
計	２０４件	

Ⅲ　各種助成制度の活用および企業協賛

自主事業の実施にあたり，次の団体・企業から助成や協賛をいただきました。

（参考）各種助成団体および協賛企業

助成団体	文化庁（優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 公益財団法人ロームミュージックファンデーション 公益社団法人日本オーケストラ連盟 公益財団法人アフィニス文化財団
協賛企業（５万円以上） （順不同）	オムロン株式会社 ローム株式会社 株式会社ゼロ・コーポレーション 京都洛東ライオンズクラブ 京都商工会議所女性会 岡村竹材株式会社 京都醍醐ライオンズクラブ スター株式会社

Ⅳ　サービス向上の取り組み

１　お客様満足度向上委員会（ＣＳ委員会）の推進

平成２１年度に全施設に設置したＣＳ（顧客満足度向上）会議を引き続き開催し，施設管理運営における問題点の改善やサービス向上の検討を行いました。

財団職員だけでなく施設で働く全部門の従事者の代表が出席し，利用者ニーズの把握，要望の検証，苦情への対処方法等を協議し，顧客の満足度の向上に向けたホスピタリティ（おもてなしの心の醸成）への追求に努めました。

２　アンケート調査の実施及びお客様ご意見箱の設置

京都コンサートホールおよび地域文化会館の施設利用者及び来館者に対して，職員の受付応対についてのアンケート調査を実施し，「満足」・「不満足」・「どちらでもない」の３段階で評価していただきました。（８８４件回収）

（参考）アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項　目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館
応対の仕方	９６％	９４％	９７％	８６％	９８％	８０％
身だしなみ	９６％	９４％	９０％	７８％	９７％	８０％
態度	９７％	９４％	９６％	８１％	９５％	８０％
説明の仕方	９３％	９４％	８９％	７７％	９４％	７９％
窓口の印象	９３％	９１％	９１％	８５％	９２％	８６％
会館内の清潔さ	９５％	９０％	９０％	８９％	９２％	９０％

利用者や来館者からは，上記のとおりすべての項目において良好な評価をいただきましが，常に利用者の目線に立ち改善を図るべく，今後も利用者からのアンケート調査を行い，今後のサービス向上の具体的な取り組みに活かしてまいります。

３　ホームページの充実

広報ツールとしても重要な役割をなすホームページの充実策として，平成２３年度から地域文化会館のトップページにて事業の案内を閲覧できるシステムの導入や，施設の空き情報をこれまで以上に見やすくするなど，利用者へのサービス向上を図り，下記のようにアクセス件数が全施設とも大幅に増加しました。

また，京都市交響楽団のページにつきましても，これまで以上にきめ細やかな情報発信に努めました。

（参考）ホームページ月平均アクセス件数

会館名	平成２３年度	平成２４年度	２４年度－２３年度
京都コンサートホール	１９，７７０件	２１，７３０件	１，９６０件
東部文化会館	２，７３３件	３，２０１件	４６８件
呉竹文化センター	３，４７０件	４，０８１件	６１１件
西文化会館ウエスティ	２，５３６件	２，８８７件	３５１件
北文化会館	３，１９０件	３，８５４件	６６４件
右京ふれあい文化会館	３，１３５件	３，９１８件	７８３件
京都市交響楽団	３３，８４１件	３５，６５６件	１，８１５件

Ⅴ　環境改善活動の取り組み

環境モデル都市・京都市の外郭団体として，平成２０年２月に認証取得したＫＥＳステップ１について，平成２５年２月に継続認証を取得しました。

また，昨年度に引き続き，平成２４年１１月に開催された「世界の京都・まちの美化市民総行動」による京都市内の美化活動に当財団職員も多数参加し，地球環境にやさしいまちづくりに貢献しました。

Ⅵ　危機管理・安全対策の取り組み

各施設において消防訓練の実施や，ＡＥＤ講習など，様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより，当財団職員の緊急時における対応・知識力を向上させ，不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

Ⅶ　情報の収集

１　公立文化施設協議会

公立文化施設を構成員とする，（社）全国公立文化施設協会，（社）全国公立文化施設協会近畿支部，京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホールが加盟し，事業に参画しました。

平成２４年度は，京都コンサートホールが京都府公立文化施設協議会の会長として，積極的に協議会の運営に貢献しました。

２　企画運営委員会（全８回）

専門委員による常設の企画運営委員会を開催し，活力あるホール運営を目指して，委員から幅広い提言・助言をいただきました。

３　コンサートホール企画連絡会議等への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議（会場：夏（事業）アクロス福岡／冬（広報）所沢ミューズ／秋（臨時）すみだトリフォニーホール）に京都コンサートホールが参加し，事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報や意見の交換を行いました。

４　舞台芸術専門委員会

舞台芸術の専門委員による舞台芸術専門委員会を開催し，京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動の助言をいただきました。

■　組織運営のための取り組み

Ⅰ　人材育成・職員研修

職員一人ひとりが，常に知識，意欲，技術の向上を図ることで，利用者により一層好感度を高めていただくとともに，市民の文化芸術活動を適切に支援し，さらに当財団が文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう，分野別研修を実施しました。

接遇・応対研修については，下記のとおり実施し，職員の接遇・応対マナーの向上に取り組みました。

また，市民の文化芸術活動の振興に寄与することができるように財団の全職員が，コーディネイト力向上を目的として,「劇場･音楽堂等への芸術文化活動支援」研修を実施しました。

（参考）平成２４年度　研修内容

研　修　名	「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援」研修	接遇マナー研修
実　施　日	平成２４年１０月１６日（火） １１月２０日（火） １２月１８日（火）	平成２５年２月１２日（火）
受 講 人 数	２６名	６１名
研 修 内 容	・事業企画の手法について討議・研究 ・テーマ設定について討議・研究 ・企画内容について討議・研究	研修　「接遇マナー研修」 講師　株式会社インソース 今岡　まゆみ　氏
会　　場	北文化会館	北文化会館

Ⅱ　新人事給与制度の実施

平成２４年８月に職員全体説明会を実施し，その後，平成２５年３月までに職員個別説明会や人事評価者研修を実施するなど，新人事給与制度の運用に向けた準備を着実に行い，平成２５年４月１日から新人事給与制度の運用を開始しました。

Ⅲ　中期経営計画における重点課題の推進

これまでの「財団運営基本計画」及び「アクションプラン」の後継計画として平成２３年５月に策定した「中期経営計画」において，指定管理期間で達成すべき経営目標を具体的な数値，指標等で設定し，その実現のための取り組みを引き続き，実施してまいりました。

Ⅳ　組織・職員

１　組織改正

平成２４年度は，京都会館の再整備による一時閉館に伴い，管理部（総務課，事業課，５つの文化会館）及び京都市交響楽団の組織体制となりました。

２　組織運営

次期指定管理業務の選定に備え，組織体制整備に加え，以下の会議開催により連絡体制の確立，情報の迅速な共有化等を図り円滑な財団運営に努めました。

（１）専務理事，事務局長，シニアマネージャー，総務課，事業課の各課長及び文化会館の各館長を構成員とする所属長会を開催（１２回開催）

（２）事務局長，事業課長，チーフコーディネイター，企画事業係長及び文化会館のコーディネイターを構成員とするコーディネイター会議を開催（８回開催）

（３）コンサートホール課長，チーフコーディネイター，コンサートホール管理係長，各課の管理担当者を構成員とする管理担当者会議を開催（１２回開催）

これらの諸会議を通じ，京都コンサートホール，地域文化会館及び京響の管理運営に係る事項について情報を共有し，貸館業務，施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた自主事業の展開等について検討しました。

３　人事異動

平成２４年４月１日付けで総数２２名の人事異動を行いました。

管理部においては，３月３１日付け退職者の後任を補充するとともに，京都市から京都会館の管理運営検討業務を受託し，再整備後の京都会館の管理運営に参画できる人事配置を行いました。

（参考１）財団職員数の推移

職　名	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
固　有　職　員	３７名	３５名	３５名	３３名
嘱　託　職　員	２３名	２５名	２６名	２５名
市からの出向職員	７名	６名	６名	６名
市派遣嘱託職員	８９名	８５名	８５名	９２名
計	１５６名	１５１名	１５２名	１５６名

※各年度すべて４月１日現在の人数とする

（参考２）財団役職別職員数の推移

職　名	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
事　務　局　長	１名	１名	１名	１名
部　長　級	２名	２名	２名	２名
課　長　級	１２名	１０名	１１名	１１名
係　長　級	１７名	１４名	１５名	１４名
主　任	８名	１１名	１１名	１４名
職　員	２９名	２９名	２８名	２３名
音楽スタッフ	５名	５名	５名	６名
楽　団　員	８２名	７９名	７９名	８５名
計	１５６名	１５１名	１５２名	１５６名

Ⅴ　庶務報告

１　役員会の開催

平成２４年度は次のとおり，理事会及び評議員会を開催し，すべての議案について可決されました。

（１）第１回理事会　　平成２４年５月２５日

＜議案＞　・業務執行理事（専務理事）の選定について
・重要な使用人の選任について
・平成２４年度第１回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
・平成２３年度事業報告について
・平成２３年度補正予算について
・平成２３年度収支決算について
・会長及び顧問の選任について
・常勤役員（専務理事）の報酬額の決定について
・委員会の設置及び委員の選任について

（２）第１回評議員会　　平成２４年６月１２日

＜議案＞　・平成２３年度事業報告について
・平成２３年度補正予算について
・平成２３年度収支決算について
・理事及び評議員の解任について
・理事の選任について
・理事の選任について
・理事の選任について
・評議員の選任について
・評議員及び非常勤役員の報酬日額の決定について

（３）第２回理事会　　平成２４年１１月２０日

＜議案＞　・平成２５年度主要事業計画について
＜報告＞　・京都会館指定管理者募集について
・公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団人事給与制度の改定について

（４）第３回理事会　　平成２５年３月１８日

＜議案＞　・理事会の決議事項である規程の改正及び制定について
・平成２５年度事業計画について
・平成２５年度収支予算について
＜報告＞　・理事長の決議事項である規程の改正及び制定について
・京都会館指定管理者への申請について

２　役員の異動

（１）第１回評議員会の承認による

ア　評議員の就任

氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
井上　利丸	ＮＨＫ京都放送局長	平成２４年６月１３日
建畠　哲	京都市立芸術大学学長	同　上
平竹　耕三	京都市文化市民局文化芸術担当局長	同　上

イ　理事の就任

氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
鍋谷　剛	ｵﾑﾛﾝ株式会社ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｿｰｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ本部総務部長	平成２４年６月１３日
奥　美里	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	同　上
尾本　恵一	(公財)京都市音楽芸術文化振興財団事務局長	同　上

ウ　評議員・理事の解任

氏　名	役　職（解任日現在）	解　任　日
評議員　小林千洋	元ＮＨＫ京都放送局長	平成２４年６月１２日
評議員　山岸吉和	前京都市文化市民局長	同　上
理　事　山本正行	前ｵﾑﾛﾝ(株)企業文化統括ｾﾝﾀｰ良き企業市民推進部長	同　上
理　事　平竹耕三	前京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	同　上
理　事　北村康二	前(公財)京都市音楽芸術文化振興財団事務局長	同　上

３　登記事項

第１回評議員会による評議員・理事の変更

氏　名	登　記　日
評　議　員　井　上　利　丸	平成２４年７月１７日
評　議　員　建　畠　哲	同　上
評　議　員　平　竹　耕　三	同　上
理　事　鍋　谷　剛	同　上
理　事　奥　美　里	同　上
理　事　尾　本　恵　一	同　上

『収益事業』

Ⅰ　公益目的外の施設提供事業

１　駐車場経営

指定管理業務として主に来館者向け駐車場として運営いたしました。

（参考）

会　館　名	駐　車　台　数	駐　車　場　収　入　金　額
京都コンサートホール	１００台	２３，３１９，２５０円
西文化会館ウエスティ	５３台	３，４８３，５００円
右京ふれあい文化会館	６７台	４，４２０，１００円
計	２２０台	３１，２２２，８５０円

２　京都コンサートホール グッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（９種類）や音楽に関連したグッズ（約３０種類）を販売しました。

（参考）

項　目	収　入　金　額
京都コンサートホールグッズ収入	６３７，１３２円
プログラム等販売収入	４４５，７５０円
チケット印刷	１，４８５，０３０円
計	２，５６７，９１２円

３　プレイガイドの運営

主催者から，入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し，それぞれのプレイガイドで販売しました。

（参考）入場券販売業務受託状況

会　館　名	受　託　件　数	収　入　金　額
京都コンサートホール	１８８件	７，９５３，９９０円
東部文化会館	５件	２１，３６０円
呉竹文化センター	８件	３１，４６０円
西文化会館ウエスティ	２件	１７，７４０円
北文化会館	９件	４３，９００円
右京ふれあい文化会館	３件	１９，１３０円
計	２１５件	８，０８７，５８０円

４　自動販売機の管理運営

京都コンサートホール, 呉竹文化センター及び右京ふれあい文化会館に設置された自動販売機の管理運営を行いました。

（参考）

会　館　名	収　入　金　額
京都コンサートホール	２５９，６０７円
呉竹文化センター	２９９，０９０円
右京ふれあい文化会館	３２５，７９２円
計	８８４，４８９円

平成２４年度

決　　算　　書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸　借　対　照　表

平成２５年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	191,317,969	273,562,872	△ 82,244,903
未収金	90,402,970	105,204,501	△ 14,801,531
貯蔵品	5,340,400	4,966,355	374,045
立替金	1,474,015	361,071	1,112,944
仮払金	214,429	0	214,429
流動資産合計	288,749,783	384,094,799	△ 95,345,016
２．固定資産			
基本財産			
投資有価証券	83,000,000	83,000,000	0
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
特定資産			
記念事業引当資産	158,186,000	158,186,000	0
管理運営引当資産	369,305,805	369,305,805	0
退職給付引当資産	204,636,814	214,572,367	△ 9,935,553
特定費用準備資金	76,587,825	0	76,587,825
特定資産取得・改良資金	8,000,000	0	8,000,000
特定資産合計	816,716,444	742,064,172	74,652,272
その他固定資産			
什器備品	10,791,091	13,136,487	△ 2,345,396
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	11,105,461	13,450,857	△ 2,345,396
固定資産合計	930,821,905	858,515,029	72,306,876
資産合計	1,219,571,688	1,242,609,828	△ 23,038,140
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	105,413,757	182,215,256	△ 76,801,499
未払法人税等	320,000	21,888,900	△ 21,568,900
前受金	105,479,010	91,345,270	14,133,740
預り金	40,881,014	57,425,210	△ 16,544,196
仮受金	0	23,000	△ 23,000
流動負債合計	252,093,781	352,897,636	△ 100,803,855
２．固定負債			
退職給付引当金	204,636,814	214,572,367	△ 9,935,553
固定負債合計	204,636,814	214,572,367	△ 9,935,553
負債合計	456,730,595	567,470,003	△ 110,739,408
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産	55,000,000	55,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	(55,000,000)	(55,000,000)	0
（うち特定財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
２．一般正味財産	707,841,093	620,139,825	87,701,268
（うち基本財産への充当額）	(48,000,000)	(48,000,000)	0
（うち特定財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	762,841,093	675,139,825	87,701,268
負債及び正味財産合計	1,219,571,688	1,242,609,828	△ 23,038,140

貸借対照表内訳書

平成２５年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅰ　資産の部					
１．流動資産					
現金預金	132,387,599	57,405,372	1,524,998	0	191,317,969
未収金	112,855,357	2,631,212	0	25,083,599	90,402,970
貯蔵品	0	5,340,400	0	0	5,340,400
立替金	1,474,015	0	0	0	1,474,015
仮払金	214,429	0	0	0	214,429
流動資産合計	246,931,400	65,376,984	1,524,998	25,083,599	288,749,783
２．固定資産					
基本財産					
投資有価証券	83,000,000	0	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	0	20,000,000
基本財産合計	103,000,000	0	0	0	103,000,000
特定資産					
記念事業引当資産	158,186,000	0	0	0	158,186,000
管理運営引当資産	369,305,805	0	0	0	369,305,805
退職給付引当資産	168,153,353	33,594,123	2,889,338	0	204,636,814
特定費用準備資金	76,587,825	0	0	0	76,587,825
特定資産取得・改良資金	8,000,000	0	0	0	8,000,000
特定資産合計	780,232,983	33,594,123	2,889,338	0	816,716,444
その他固定資産					
什器備品	9,077,653	1,566,732	146,706	0	10,791,091
電話加入権	314,370	0	0	0	314,370
その他固定資産合計	9,392,023	1,566,732	146,706	0	11,105,461
固定資産合計	892,625,006	35,160,855	3,036,044	0	930,821,905
資産合計	1,139,556,406	100,537,839	4,561,042	25,083,599	1,219,571,688
Ⅱ　負債の部					
１．流動負債					
未払金	117,673,510	11,329,931	1,493,915	25,083,599	105,413,757
未払法人税等	0	320,000	0	0	320,000
前受金	99,782,862	5,696,148	0	0	105,479,010
預り金	33,315,528	7,387,697	177,789	0	40,881,014
流動負債合計	250,771,900	24,733,776	1,671,704	25,083,599	252,093,781
２．固定負債					
退職給付引当金	168,153,353	33,594,123	2,889,338	0	204,636,814
固定負債合計	168,153,353	33,594,123	2,889,338	0	204,636,814
負債合計	418,925,253	58,327,899	4,561,042	25,083,599	456,730,595
Ⅲ　正味財産の部					
１．指定正味財産	55,000,000	0	0	0	55,000,000
（うち基本財産への充当額）	(55,000,000)	(0)	(0)	(0)	(55,000,000)
（うち特定財産への充当額）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
２．一般正味財産	665,631,153	42,209,940	0	0	707,841,093
（うち基本財産への充当額）	(48,000,000)	(0)	(0)	(0)	(48,000,000)
（うち特定財産への充当額）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	720,631,153	42,209,940	0	0	762,841,093
負債及び正味財産合計	1,139,556,406	100,537,839	4,561,042	25,083,599	1,219,571,688

平成２４年度正味財産増減計算書

平成２４年４月１日から平成２５年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
⑴経常収益				
①基本財産運用益	1,241,690	1,242,162	△ 472	
1 基本財産運用益	1,241,690	1,242,162	△ 472	
基本財産受取利息等	1,241,690	1,242,162	△ 472	
②特定資産運用益	2,341,242	3,625,403	△ 1,284,161	
1 特定資産運用益	2,341,242	3,625,403	△ 1,284,161	
特定資産受取利息等	2,341,242	3,625,403	△ 1,284,161	
③事業収益	1,278,081,348	1,490,969,810	△ 212,888,462	
1 自主・共催事業収益	340,368,799	329,570,201	10,798,598	
入場料収益	115,145,339	112,225,185	2,920,154	
参加料収益	2,580,020	3,580,420	△ 1,000,400	
スペシャルメンバーズ会費	14,264,000	14,048,000	216,000	
友の会会費	46,004,000	45,412,500	591,500	
京響コーラス会費	2,419,000	0	2,419,000	
広告料収益	13,562,000	20,562,100	△ 7,000,100	
共催事業収益	50,895,729	38,214,935	12,680,794	
助成金収益	92,843,000	91,531,000	1,312,000	
物品販売等収益	2,655,711	3,996,061	△ 1,340,350	
2 事業受託収益	162,612,558	167,704,070	△ 5,091,512	
事業受託収益	162,612,558	167,704,070	△ 5,091,512	
3 管理受託収益	440,512,000	677,327,000	△ 236,815,000	
管理受託収益	440,512,000	677,327,000	△ 236,815,000	
4 利用料収益	323,414,060	303,409,250	20,004,810	
ホール利用料金収益	292,191,210	273,456,550	18,734,660	
駐車場利用料金収益	31,222,850	29,952,700	1,270,150	
5 その他事業収益	11,173,931	12,959,289	△ 1,785,358	
企画・演出手数料等収益	6,888,021	9,919,962	△ 3,031,941	
プレイガイド事務手数料収益	4,285,910	3,039,327	1,246,583	
④受取補助金等	644,407,263	623,662,067	20,745,196	
1 受取地方公共団体補助金	644,407,263	623,662,067	20,745,196	
京都市補助金	644,407,263	623,662,067	20,745,196	
⑤雑収益	5,541,069	4,106,713	1,434,356	
1 雑収益	5,541,069	4,106,713	1,434,356	
受取利息等	944	1,271	△ 327	
管理手数料等収益	2,279,214	3,668,125	△ 1,388,911	
雑収益	3,260,911	437,317	2,823,594	
経常収益合計	1,931,612,612	2,123,606,155	△ 191,993,543	

平成２４年度正味財産増減計算書

平成２４年４月１日から平成２５年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
⑵経常費用				
①事業費	1,817,789,710	2,076,810,227	△ 259,020,517	
役員報酬	4,662,612	4,662,612	0	
給料手当	873,844,521	864,554,601	9,289,920	
退職給付費用	919,355	53,795,086	△ 52,875,731	
臨時雇賃金	16,944,965	23,834,730	△ 6,889,765	
福利厚生費	135,119,233	133,410,002	1,709,231	
会議費	4,122	0	4,122	
旅費交通費	23,158,381	21,123,005	2,035,376	
通信運搬費	15,075,394	16,396,121	△ 1,320,727	
減価償却費	8,377,182	11,356,360	△ 2,979,178	
消耗什器備品費	3,151,770	2,112,777	1,038,993	
消耗品費	21,475,880	26,293,423	△ 4,817,543	
商品費	1,280,846	1,902,586	△ 621,740	
見本費	6,753	10,660	△ 3,907	
修繕費	20,528,407	51,214,764	△ 30,686,357	
印刷製本費	28,582,436	29,740,674	△ 1,158,238	
広告宣伝費	34,977,883	28,419,348	6,558,535	
光熱水料費	127,035,382	161,908,940	△ 34,873,558	
賃借料	5,242,981	32,426,384	△ 27,183,403	
保険料	2,102,991	2,134,684	△ 31,693	
諸謝金	1,813,494	1,380,259	433,235	
租税公課	23,968,563	32,148,269	△ 8,179,706	
支払負担金	12,284,154	12,248,395	35,759	
スペシャルメンバーズチケット購入額	14,264,000	14,048,000	216,000	
支援事業助成金	454,080	184,500	269,580	
委託費	434,910,108	541,048,144	△ 106,138,036	
接遇交際費	10,000	21,828	△ 11,828	
支払手数料等	4,181,844	3,672,565	509,279	
雑費	3,412,373	6,761,510	△ 3,349,137	
②管理費	25,801,634	26,146,187	△ 344,553	
役員報酬	1,945,995	2,203,672	△ 257,677	
給料手当	7,797,347	7,657,666	139,681	
退職給付費用	275,536	306,927	△ 31,391	
臨時雇賃金	0	323,694	△ 323,694	
福利厚生費	2,486,739	2,436,938	49,801	
会議費	66,937	417,747	△ 350,810	
旅費交通費	332,890	2,262,320	△ 1,929,430	
通信運搬費	364,078	102,188	261,890	
減価償却費	140,674	69,035	71,639	
消耗什器備品費	708,315	779,352	△ 71,037	

平成２４年度正味財産増減計算書

平成２４年４月１日から平成２５年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
消耗品費	840,383	1,051,780	△ 211,397	
修繕費	28,350	771,015	△ 742,665	
印刷製本費	14,300	17,200	△ 2,900	
賃借料	359,100	0	359,100	
諸謝金	1,764,000	1,974,000	△ 210,000	
租税公課	576,177	566,593	9,584	
支払負担金	306,500	261,000	45,500	
委託費	7,664,392	4,914,000	2,750,392	
接遇交際費	0	23,910	△ 23,910	
支払手数料等	108,860	7,150	101,710	
雑費	21,061	0	21,061	
経常費用合計	1,843,591,344	2,102,956,414	△ 259,365,070	
当期経常増減額	88,021,268	20,649,741	67,371,527	
２．経常外増減の部				
⑴経常外収益				
①引当金戻入益				
１引当金戻入益				
退職給付引当金等戻入益	0	94,145,805	△ 94,145,805	
引当金戻入益計	0	94,145,805	△ 94,145,805	
経常外収益計	0	94,145,805	△ 94,145,805	
⑵経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	94,145,805	△ 94,145,805	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	88,021,268	114,795,546	△ 26,774,278	
法人税，住民税及び事業税	320,000	21,888,900	△ 21,568,900	
当期一般正味財産増減額	87,701,268	92,906,646	△ 5,205,378	
一般正味財産期首残高	620,139,825	527,233,179	92,906,646	
一般正味財産期末残高	707,841,093	620,139,825	87,701,268	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0	
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0	
Ⅲ　正味財産期末残高	762,841,093	675,139,825	87,701,268	

平成２４年度正味財産増減計算書　内訳書

平成２４年４月１日から平成２５年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引消去	合　計
	公１ 文化芸術事業	公２ ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業	共　通	小　計	物品販売等 公益目的外事業	小　計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
１．経常増減の部									
⑴経常収益									
①基本財産運用益	1,241,690	0	0	1,241,690	0	0	0	0	1,241,690
1 基本財産運用益	1,241,690	0	0	1,241,690	0	0	0	0	1,241,690
基本財産受取利息等	1,241,690	0	0	1,241,690	0	0	0	0	1,241,690
②特定資産運用益	2,283,508	57,734	0	2,341,242	0	0	0	0	2,341,242
1 特定資産運用益	2,283,508	57,734	0	2,341,242	0	0	0	0	2,341,242
特定資産受取利息等	2,283,508	57,734	0	2,341,242	0	0	0	0	2,341,242
③事業収益	882,872,763	351,815,856	0	1,234,688,619	138,675,075	138,675,075	25,801,634	△ 121,083,980	1,278,081,348
1 自主・共催事業収益	137,833,610	202,014,938	0	339,848,548	3,339,901	3,339,901	0	△ 2,819,650	340,368,799
入場料収益	65,869,239	49,276,100	0	115,145,339	0	0	0	0	115,145,339
参加料収益	2,580,020	0	0	2,580,020	0	0	0	0	2,580,020
スペシャルメンバーズ会費	14,264,000	0	0	14,264,000	0	0	0	0	14,264,000
友の会会費	1,905,000	44,099,000	0	46,004,000	0	0	0	0	46,004,000
京響コーラス会費	0	2,419,000	0	2,419,000	0	0	0	0	2,419,000
広告料収益	10,522,000	3,040,000	0	13,562,000	0	0	0	0	13,562,000
共催事業収益	23,100,351	29,930,838	0	53,031,189	0	0	0	△ 2,135,460	50,895,729
助成金収益	19,593,000	73,250,000	0	92,843,000	0	0	0	0	92,843,000
物品販売等収益	0	0	0	0	3,339,901	3,339,901	0	△ 684,190	2,655,711
2 事業受託収益	36,689,140	149,800,918	0	186,490,058	0	0	0	△ 23,877,500	162,612,558
事業受託収益	36,689,140	149,800,918	0	186,490,058	0	0	0	△ 23,877,500	162,612,558
3 管理受託収益	361,196,841	0	0	361,196,841	53,513,525	53,513,525	25,801,634	0	440,512,000
管理受託収益	361,196,841	0	0	361,196,841	53,513,525	53,513,525	25,801,634	0	440,512,000
4 利用料収益	347,153,172	0	0	347,153,172	66,846,048	66,846,048	0	△ 90,585,160	323,414,060
ホール利用料金収益	347,153,172	0	0	347,153,172	35,623,198	35,623,198	0	△ 90,585,160	292,191,210
駐車場利用料金収益	0	0	0	0	31,222,850	31,222,850	0	0	31,222,850
5 その他事業収益	0	0	0	0	14,975,601	14,975,601	0	△ 3,801,670	11,173,931
企画・演出手数料等収益	0	0	0	0	6,888,021	6,888,021	0	0	6,888,021
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	0	8,087,580	8,087,580	0	△ 3,801,670	4,285,910
④受取補助金等	0	639,375,012	0	639,375,012	5,032,251	5,032,251	0	0	644,407,263
1 受取地方公共団体補助金	0	639,375,012	0	639,375,012	5,032,251	5,032,251	0	0	644,407,263
京都市補助金	0	639,375,012	0	639,375,012	5,032,251	5,032,251	0	0	644,407,263
⑤雑収益	944	0	0	944	5,540,545	5,540,545	0	△ 420	5,541,069
1 雑収益	944	0	0	944	5,540,545	5,540,545	0	△ 420	5,541,069
受取利息等	944	0	0	944	0	0	0	0	944
管理手数料等収益	0	0	0	0	2,279,634	2,279,634	0	△ 420	2,279,214
雑収益	0	0	0	0	3,260,911	3,260,911	0	0	3,260,911
経常収益合計	886,398,905	991,248,602	0	1,877,647,507	149,247,871	149,247,871	25,801,634	△ 121,084,400	1,931,612,612

平成２４年度正味財産増減計算書　内訳書

平成２４年４月１日から平成２５年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引消去	合　計
	公１ 文化芸術事業	公２ ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業	共　通	小　計	物品販売等 公益目的外事業	小　計			
⑵経常費用									
①事業費	855,545,945	940,947,180	0	1,796,493,125	142,380,985	142,380,985	0	△ 121,084,400	1,817,789,710
役員報酬	1,554,204	1,554,204	0	3,108,408	1,554,204	1,554,204	0	0	4,662,612
給料手当	249,562,745	562,460,583	0	812,023,328	61,821,193	61,821,193	0	0	873,844,521
退職給付費用	505,966	△ 1,032,532	0	△ 526,566	1,445,921	1,445,921	0	0	919,355
臨時雇賃金	5,902,368	10,117,478	0	16,019,846	925,119	925,119	0	0	16,944,965
福利厚生費	41,903,679	82,188,896	0	124,092,575	11,026,658	11,026,658	0	0	135,119,233
会議費	4,122	0	0	4,122	0	0	0	0	4,122
旅費交通費	2,107,172	20,931,641	0	23,038,813	119,568	119,568	0	0	23,158,381
通信運搬費	4,756,169	9,960,263	0	14,716,432	358,962	358,962	0	0	15,075,394
減価償却費	811,167	6,735,519	0	7,546,686	830,496	830,496	0	0	8,377,182
消耗什器備品費	1,887,677	874,773	0	2,762,450	389,320	389,320	0	0	3,151,770
消耗品費	10,805,716	9,408,766	0	20,214,482	1,261,398	1,261,398	0	0	21,475,880
商品費	0	0	0	0	1,280,846	1,280,846	0	0	1,280,846
見本費	0	6,753	0	6,753	0	0	0	0	6,753
修繕費	15,785,174	1,205,495	0	16,990,669	3,537,738	3,537,738	0	0	20,528,407
印刷製本費	18,869,047	9,822,194	0	28,691,241	528,855	528,855	0	△ 637,660	28,582,436
広告宣伝費	15,578,131	19,394,589	0	34,972,720	5,163	5,163	0	0	34,977,883
光熱水料費	107,726,487	4,732,827	0	112,459,314	14,576,068	14,576,068	0	0	127,035,382
賃借料	55,386,980	53,639,164	0	109,026,144	325,327	325,327	0	△ 104,108,490	5,242,981
保険料	553,875	1,499,710	0	2,053,585	49,406	49,406	0	0	2,102,991
諸謝金	1,208,409	600,260	0	1,808,669	4,825	4,825	0	0	1,813,494
租税公課	14,573,816	4,003,635	0	18,577,451	5,391,112	5,391,112	0	0	23,968,563
支払負担金	8,988,837	787,000	0	9,775,837	2,508,317	2,508,317	0	0	12,284,154
スペシャルメンバーズチケット購入額	14,264,000	0	0	14,264,000	0	0	0	0	14,264,000
支援事業助成金	6,066,630	0	0	6,066,630	0	0	0	△ 5,612,550	454,080
委託費	273,306,700	139,527,938	0	412,834,638	32,801,170	32,801,170	0	△ 10,725,700	434,910,108
接遇交際費	0	10,000	0	10,000	0	0	0	0	10,000
支払手数料等	1,670,002	1,379,169	0	3,049,171	1,132,673	1,132,673	0	0	4,181,844
雑費	1,766,872	1,138,855	0	2,905,727	506,646	506,646	0	0	3,412,373
②管理費	0	0	0	0	0	0	25,801,634	0	25,801,634
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,945,995	0	1,945,995
給料手当	0	0	0	0	0	0	7,797,347	0	7,797,347
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	275,536	0	275,536
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	2,486,739	0	2,486,739
会議費	0	0	0	0	0	0	66,937	0	66,937
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	332,890	0	332,890
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	364,078	0	364,078
減価償却費	0	0	0	0	0	0	140,674	0	140,674

平成２４年度正味財産増減計算書　内訳書

平成２４年４月１日から平成２５年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引消去	合　計
	公１ 文化芸術事業	公２ ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業	共　通	小　計	物品販売等 公益目的外事業	小　計			
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	708,315	0	708,315
消耗品費	0	0	0	0	0	0	840,383	0	840,383
修繕費	0	0	0	0	0	0	28,350	0	28,350
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	14,300	0	14,300
賃借料	0	0	0	0	0	0	359,100	0	359,100
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,764,000	0	1,764,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	576,177	0	576,177
支払負担金	0	0	0	0	0	0	306,500	0	306,500
委託費	0	0	0	0	0	0	7,664,392	0	7,664,392
支払手数料等	0	0	0	0	0	0	108,860	0	108,860
雑費	0	0	0	0	0	0	21,061	0	21,061
経常費用合計	855,545,945	940,947,180	0	1,796,493,125	142,380,985	142,380,985	25,801,634	△ 121,084,400	1,843,591,344
当期経常増減額	30,852,960	50,301,422	0	81,154,382	6,866,886	6,866,886	0	0	88,021,268
２．経常外増減の部									
⑴経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑵経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,433,443	0	0	3,433,443	△ 3,433,443	△ 3,433,443	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	34,286,403	50,301,422	0	84,587,825	3,433,443	3,433,443	0	0	88,021,268
法人税，住民税及び事業税	0	0	0	0	320,000	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	34,286,403	50,301,422	0	84,587,825	3,113,443	3,113,443	0	0	87,701,268
一般正味財産期首残高				581,043,328	39,096,497	39,096,497	0	0	620,139,825
一般正味財産期末残高				665,631,153	42,209,940	42,209,940	0	0	707,841,093
Ⅱ　指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額				0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				55,000,000	0	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高				55,000,000	0	0	0	0	55,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高				720,631,153	42,209,940	42,209,940	0	0	762,841,093

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

（１）有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…購入時の取得価額によっております。なお償却原価法については，取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため，適用していない。

（２）たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

（３）固定資産の減価償却の方法
当財団会計規程第２１条に従い，償却費の計算は定率法により行っており，勘定記入の方法は直接法により行っている。

（４）引当金の計上基準
退職給付引当金については，職員の退職金の支払に備えるため，財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を引き当てている。

（５）消費税等の会計処理
消費税等の取扱いについては，税込処理方式を採用している。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
京都市債	83,000,000	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小　　計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	0	0	158,186,000
管理運営引当資産	369,305,805	0	0	369,305,805
退職給付引当資産	214,572,367	0	9,935,553	204,636,814
特定費用準備資金	0	76,587,825	0	76,587,825
特定資産取得・改良資金	0	8,000,000	0	8,000,000
小　　計	742,064,172	84,587,825	9,935,553	816,716,444
合　　計	845,064,172	84,587,825	9,935,553	919,716,444

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
京都市債	83,000,000	(55,000,000)	(28,000,000)	0
定期預金	20,000,000	0	(20,000,000)	0
小　　計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	0
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	0	(158,186,000)	0
管理運営引当資産	369,305,805	0	(369,305,805)	0
退職給付引当資産	204,636,814	0	0	(204,636,814)
特定費用準備資金	76,587,825	0	(76,587,825)	0
特定資産取得・改良資金	8,000,000	0	(8,000,000)	0
小　　計	816,716,444	0	(612,079,630)	(204,636,814)
合　　計	919,716,444	(55,000,000)	(660,079,630)	(204,636,814)

４．固定資産取得価額，減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	76,803,519	66,012,428	10,791,091

５．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価並びに評価損益は，次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益	
京都市債10年(平成20年度第5回)	83,000,000	89,191,800	6,191,800	基本財産投資有価証券
利付国債2年(第309回)	49,970,000	50,010,000	40,000	記念事業引当資産
京都市債5年(平成23年度第3回)	100,000,000	100,760,000	760,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成24年度第6回)	50,000,000	49,865,000	△ 135,000	管理運営引当資産
短期国庫証券(第351回)	149,995,500	149,985,000	△ 10,500	管理運営引当資産
京都市債5年(平成21年度第2回)	49,995,000	50,460,000	465,000	退職給付引当資産
京都市債5年(平成23年度第3回)	30,000,000	30,228,000	228,000	退職給付引当資産
京都府京都みらい債5年(平成22年度第8回)	20,000,000	19,963,900	△ 36,100	退職給付引当資産
京都府京都安心づくりみらい債5年(平成23年度第8回)	10,000,000	9,959,450	△ 40,550	退職給付引当資産
短期国庫証券(第351回)	49,995,300	49,995,000	△ 300	退職給付引当資産
合　　計	592,955,800	600,418,150	7,462,350	

６．補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

（単位：円）

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
財団運営事業補助金 交付者　京都市	0	644,407,263	644,407,263	0
受取補助金計	0	644,407,263	644,407,263	0
助成金				
芸術創造活動重点支援事業 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	69,800,000	69,800,000	0
優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 交付者　文化庁	0	19,193,000	19,193,000	0
ｵｰｹｽﾄﾗのｺﾝｻｰﾄとCD発行 交付者　公益財団法人 ﾛｰﾑﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ	0	2,900,000	2,900,000	0
公演助成 交付者　財団法人ｱﾌｨﾆｽ 文化財団	0	500,000	500,000	0
音楽公演助成 交付者　公益財団法人 ﾛｰﾑﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ	0	400,000	400,000	0
広告助成 交付者　社団法人日本 オーケストラ連盟	0	50,000	50,000	0
受取助成金計	0	92,843,000	92,843,000	0
合　　計	0	737,250,263	737,250,263	0

財　産　目　録

平成２５年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手許保管	運転資金として	8,038,625
	普通預金	総務課		
		京都銀行下鴨支店	〃	4,993,191
		三菱東京ＵＦＪ銀行京都支店	〃	2,145,647
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	11,000
		三井住友銀行京都支店	〃	8,829
		三井住友信託銀行京都支店	〃	9,052
		滋賀銀行北大路支店	〃	10,247
		ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	6,666,287
		事業課		
		京都銀行下鴨支店	〃	16,233,407
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	16,752,067
		三菱東京ＵＦＪ銀行京都支店	〃	23,560,014
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	10,439,601
		京都信用金庫北山支店	〃	15,100,010
		三井住友銀行京都支店	〃	2,767,809
		りそな銀行京都支店	〃	54,668
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	13,775,169
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	14,886,361
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	9,115,787
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	13,149,078
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	21,159
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	18,591,457
	郵便振替	事業課	〃	4,774,095
		京都市交響楽団	〃	9,129,400
		京都市東部文化会館	〃	1,000
		京都市呉竹文化センター	〃	48,979
		京都市北文化会館	〃	717,700
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	317,330
	未収金	総務課		386,248
		事業課	ホール利用料金等	52,971,011
		京都市交響楽団	公演料，助成金等	36,374,676
		京都市東部文化会館	ホール利用料金等	86,500
		京都市呉竹文化センター	〃	31,034
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	46,540
		京都市北文化会館	〃	11,600
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	495,361
	貯蔵品	事業課	販売用商品	375,411
		京都市交響楽団	〃	1,649,336
		京都市東部文化会館	照明用ﾎﾟﾘｶﾗｰ	583,011
		京都市呉竹文化センター	〃	411,947
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,373,338
		京都市北文化会館	〃	519,660
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	427,697
	立替金	京都市交響楽団	ホール利用料金	1,474,015
	仮払金	総務課	労働保険料	197,918
		京都市交響楽団	〃	16,511
流動資産合計				288,749,783

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	京都市債平成20年度第5回(10年)		83,000,000
	定期預金	京都銀行下鴨支店	公益目的保有財産であり，運用	10,000,000
		三菱東京ＵＦＪ銀行京都支店	益を公益目的事業財源等に使用	10,000,000
特定資産	記念事業引当資産	利付国債第309回(2年)	〃	49,970,000
		定期預金　京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000
		定期預金　りそな銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	36,216,000
		〃	〃	52,000,000
	管理運営引当資産	京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	100,000,000
		京都市債平成24年度第6回(5年)	〃	50,000,000
		国庫短期証券第351回	〃	149,995,500
		定期預金　京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	10,000,000
		定期預金　滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000
		定期預金　三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金　三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	29,310,305
	退職給付引当資産	京都市債平成21年度第2回(5年)	〃	49,995,000
		京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	30,000,000
		国庫短期証券第351回	〃	49,995,300
		京都府債第8回京都みらい債(5年)	〃	20,000,000
		京都府債平成23年度京都安心づくりみらい債(5年)	〃	10,000,000
		定期預金　みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	34,646,514
	特定費用準備資金	普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	31,286,403
		〃	〃	45,301,422
	特定資産取得・改良資金	普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	3,000,000
		〃	〃	5,000,000
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	146,710
		事業課	〃	3,091,496
		京都市交響楽団	〃	7,320,551
		京都市東部文化会館	〃	53,330
		京都市呉竹文化センター	〃	38,997
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	53,992
		京都市北文化会館	〃	47,018
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	38,997
	電話加入権	事業課	電話加入権	314,370
固定資産合計				930,821,905
資産合計				1,219,571,688
(流動負債)				
	未払金	総務課	人件費等	38,793,426
		事業課	公演経費，ホール運営経費等	19,189,814
		京都市交響楽団	人件費，公演経費等	41,339,584
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	585,312
		京都市呉竹文化センター	〃	1,952,735
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	782,018
		京都市北文化会館	〃	1,829,738
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	941,130
	未払法人税等	総務課	法人税等	320,000
	前受金	事業課	ホール利用料金等	48,052,130
		京都市交響楽団	友の会会費等	35,847,600
		京都市東部文化会館	ホール利用料金等	2,635,840
		京都市呉竹文化センター	〃	6,024,400
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	3,437,100
		京都市北文化会館	〃	5,141,040
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	4,340,900
	預り金	総務課	社会保険料等	7,840,782
		事業課	チケット購入代金等	22,799,703

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		京都市交響楽団	〃	4,051,875
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	1,860,330
		京都市呉竹文化センター	〃	1,100,395
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	624,461
		京都市北文化会館	〃	598,500
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	2,004,968
流動負債合計				252,093,781
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	204,636,814
固定負債合計				204,636,814
負債合計				456,730,595
正味財産				762,841,093